

HP 添付資料

「平成18年1月から平成23年1月までに川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

研究課題名：非小細胞肺癌切除標本におけるエストロゲン受容体、アロマターゼの発現、NK 細胞浸潤と予後との関連の検討

川崎医科大学附属病院呼吸器外科では、川崎医科大学倫理審査委員会の審査・承認を得て、平成18年1月から平成23年1月までに当診療科において肺癌の手術を受けられた患者さんを対象に、手術時に切除された肺癌組織を用いて、肺癌細胞において女性ホルモンの働きに影響するエストロゲン受容体、アロマターゼ酵素の発現の程度がNK細胞というリンパ球の集まり具合や肺癌の再発のしやすさに影響するか否かを明らかにするため研究を行なっています。具体的には切除された肺癌組織中のエストロゲン受容体およびアロマターゼというタンパク質の発現の程度とNK細胞の集まり具合を調べ、手術後の再発率や生存率との関連を調べます。

新たに血液や組織を採取することはありません。また、個人が特定できる情報も収集いたしません。手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」に御同意いただいた方が対象です。なお、研究を行なうために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反といいますが、この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

ご質問がある方、この研究に御自分のデータを使用されることに「不同意」とする方は下記連絡先までご連絡ください。

問い合わせ先

主任研究者 川崎医科大学 呼吸器外科学 沖田 理貴

電子メール gts@med.kawasaki-m.ac.jp

電話 川崎医科大学代表 086-462-1111

呼吸器外科実験室 内線 25519

FAX 086-464-1124